

茨城県金融教育委員会
茨城県立高萩清松高等学校

実践報告

「金融教育公開授業・研究協議（茨城県立高萩清松高等学校）」（12月5日開催）

【学校の特徴・概要】

初めに、高萩清松高校について県北地区にある総合学科の学校です。本校は、平成17年に設置され、全日制総合学科（単位制）の県立高等学校として、5系列（人文科学、自然科学、機械テクノロジー、情報ビジネス、福祉・生活科学）6コースからなる特色ある教育活動を行い生徒の興味関心を引き出し、個々の能力適性に応じて、希望する進路達成に向けて学ぶことができる学校です。入学後1年間で各系列の特徴や卒業後の進路について知ること、系列選択のミスマッチを減らし、より生徒の学ぶ意欲にもつながっています。

・人文科学系列

文系（文学・教育学・心理学等）の大学や短期大学への進学を目指します。また、基礎力の強化から始まり、段階を追って応用力を身に付けることで、着実な学力向上を図ります。

・自然科学系列

理系（理学・工学・医学等）の大学や看護学校、医療系専門学校等、専門性の高い上級学校への進学を目指します。また、実習や演習を通して、科学的視点から事実を論理的に深く考察する力を養います。

・機械テクノロジー系列

工業系大学や専門学校への進学、生産技術系への就職を目指します。また、物づくりの基礎から積み上げ、確かな技術力を磨きます。

・情報ビジネス系列

情報・流通系大学や専門学校への進学、事務・サービス系への就職を目指します。また、情報技術とビジネスマナーを身につけ、資格や検定による着実なスキルアップを図ります。

・福祉・生活科学系列

介護福祉士コース・・・介護福祉士国家試験の受験資格取得を目指します。
生活科学コース・・・介護、食物、被服に関する知識と技術を身につけます。

【金融教育公開授業・講演会・研究協議（12月5日開催）】

12月5日（火）に金融教育公開授業・講演会・研究協議を開催し、研究校として2年間（令和4・5年度）金融教育に取り組んできた成果を、3年生情報系列での公開授業をとおして発表した。

1. 公開授業

<参加者>

31名—3年情報系列20名、開催校職員：6名、茨城県金融広報委員会事務局2名、金融教育アドバイザー2名、高校教育課指導主事1名
経済活動と法（3年情報系列）

■ 単元名 「販売方法の多様化と消費者の保護」

■ 単元の目標

- 消費生活に関するトラブルを理解し、将来のリスクの回避や低減をめざせるように積極的に取り組もうとしている。（関心・意欲・態度）
- 適切な表の形式や金額を選択し、問題解決に必要な表を作成している。（思考・判断・表現）
- 自らの生活で使用している利率をもとに表の作成を学習している。（学びに向かう力、人間性）

■ 学習内容及び活動

- ①保護者から離れた成人・若者をターゲットとする商法やこの消費者信用についての学習こそ賢い消費者を構成する条件となることを理解する。
- ②教科書の内容を黒板に書き出す。
- ③金利計算を行う（単利と複利の違い）。



2. 講演会

<参加者>

生徒367名、開催校職員50名、茨城県金融広報委員会事務局2名、
金融教育アドバイザー2名、高校教育課指導主事1名

ピーターフランクフル氏から「人生を楽しくする方程式」の講演をいただきながら、生徒が話だけでは飽きてしまわないように、大道芸などを交え、一つ一つ興味深い話を様々としてくださいました。生徒の心に残り、今後の人生に役立つよう幅の広い講演でした。



3. 研究協議

<参加者>

他校教職員 4 名、開催校職員：6 名、茨城県金融広報委員会事務局 2 名、
金融教育アドバイザー 2 名、高校教育課指導主事 1 名

- (1) 茨城県金融広報委員会事務局あいさつ
- (2) 研究発表
- (3) 指導講評
- (4) 閉会

金融教育研究指定校としての委託を受け、研究テーマを「金融教育について より良く将来、生徒が生活していくために」と設定し、2 年間研究してきました。

研究指定校として金融教育セミナーに参加し、他校の取り組みを知ることが出来たことや第一生命との授業を通して、生徒が多くのことを学ぶことができたように思えます。

2 年間の指導としては、ここで終わりますが、今後も学んだ知識を少しでも他の生徒にも伝えていきたいと思えます。